



# 令和8年度 越前市王子保小学校スクールプラン

越前市教育振興ビジョン  
未来へ続く教育

学校教育目標 WA王「わおう」=4つの「WA」で自分の可能性を伸ばす

校訓  
春風接人

めざす子ども像

- ・進んで学び、話し合いを通して自分の考えを深める子 (知)
- ・思いやりの心もち、仲良く助け合う子 (徳)
- ・元気な心と体もち、大いに活動できる子 (体)

保護者・地域の願い

- ・自分で考えて行動し、責任のもてる子
- ・粘り強く自信をもって最後までやりぬく子
- ・明るく朗らかで進んで働く子

## 重点目標

### 分=分かるの「WA」

- ◎分かる楽しさを追究した授業づくり
- 読書の習慣化を定着

### 和=平和の「WA」

- ◎安心して所属できる集団の育成
- 心身ともに健康的な生活習慣の定着

### 話=対話の「WA」

- ポジティブで温かい風土の醸成
- 困難を乗り越える力の育成と支援

### 輪=地域の一人としての「WA」

- 地域と進める体験学習の定着
- 開かれた学校づくり

## 具体的な取組

- ・本時や単元毎につけたい力を明確化
- ・デジタル学習基盤の効果的活用と研究の推進
- ・分かったと実感できる授業展開
- ・児童が自分で考え、表現する場面の設定
- ・学びを実感できる問い返しの活用
- ・児童の学びに視点をおいた相互授業参観
- ・図書館教育の活用、読み聞かせ活動の継続

- ・縦割り班活動やハートの樹、にこにこニュース等を通し、自分の居場所を感じる場を充実
- ・道徳教育と人権教育の充実、笑顔で下校を合言葉(福祉体験活動、教育相談やいじめ調査等の定期的な実施と分析)
- ・丁寧な健康観察と保健室と連携した健康関連の発信と啓発
- ・困り感のある児童への即日対応

- ・SCによる現職教育(受容・傾聴等)話をきいてもらった安心感づくり
- ・ポジティブ教育の推進
- ・ふるさと教育の推進(地元で働くようこそ先輩・工場見学、本物に触れる体験学習)
- ・児童会、委員会、学級会活動の活性化(行事の企画運営や課題改善活動に挑戦)

- ・地域に誇りや愛着を感じる体験活動(ふるさと探検隊、地域人材を活用した「やしき」体験・造形体験、餅米作り体験等)
- ・保幼小中連携(子どもや職員の異校種間交流)
- ・保護者が授業や行事を参観する機会の確保
- ・お便りやHPで学校の様子を発信
- ・PTAとの連携(史跡巡り、餅つき会等)

- ・ICTの活用や話し合いを通して、考えが深まったと答える児童 80%
- ・「図書室で本を借りて読書をしている」と答える児童 90%

- ・自分のよさや、ほかの人のよさに気付くことができたと答える児童 90%
- ・困ったときに相談できる人がいると答える児童 90%

- ・失敗したり嫌になったりしても、前向きに頑張っていると答える保護者 80%
- ・学校の外でも、挨拶や返事、感謝の言葉等が自然に言えるようになったと答える児童 90%

- ・地域について学び、地域を大切に思うようになったと答える児童 95%
- ・学校公開や、お便り・HPを見たりして、学校の様子がよくわかると答える保護者 90%

### 業務改善のための取組

- ・下校後の効果的な活用に関し、教職員の意識向上を図る。(会議の時間設定、教材研究、OJTの時間等)
- ・業務の立て込む時期(学期初め・学期末等)は時程を工夫し、教職員が余裕をもって児童に対応できるようにする。
- ・Home&SchoolやForms、TeamsやZoomを活用し、事務処理の効率化、ペーパーレス化を図る。